

空き家をアイデアで活かし 地域活性化につなげる

全国で空き家の増加が問題になる中、空き家を使って新しい事業を始める人たちも増えてきています。今回は、空き家活用を地域の活性化にもつなげた他市町村の事例を紹介します。

空き家対策強化のため
空き家活用のプロと連携

現在、町内に一般住宅で176戸の「空き家」が確認されており、このうち35戸が管理不全と判断された「特定空き家」となっています（平成26年度調査）。

町では、平成27年度に「国見町空家等の適性管理及び活用促進に関する条例」を定め、空き家の適正な管理と活用を促進する取り組みを進めています。

その一環として、今年の2月、町は株式会社あきやカンパニー（東京都渋谷区）及び、株式会社らいおん建築事務所（東京都豊島区）と、町の空き家の有効活用などにおいて連携し事業を行う三者協定を締結。右記の二社は、地方における空き家活用やエリアリノベーション、家守事業などを行ってきました。

今月号では、あきやカンパニーが運営する空き家の総合相談窓口「カリアゲJAPAN」が関わった、空き家活用事例を紹介します。



元釣具倉庫をベーグル屋に「みやがわベーグル」

三浦半島の南端に位置する人口約1300人の神奈川県三浦市宮川町。数年間使われていなかった元釣具倉庫がベーグル屋に生まれ変わるきっかけになったのは、人口と税収の減少などに将来への不安を抱いた地域の人からの「地域の空き家を使って何かできないか？」という相談でした。

元釣具倉庫は小さな湾を望む谷あいには位置しており、地元の人でもあまり頻りに訪れる場所ではありません。しかし、波の音やのどかな自然を感じられる心地良い場所でした。ここはどうやって人を呼び込もうかと考えた末に、三浦で栽培した小麦を使ったベーグルと三浦野菜を練り込んだクリームチーズを販売するお店にすることにしました。建物は外壁にポリカーボ



三浦半島の海辺の町にある元釣具倉庫を活用した事例「みやがわベーグル」（※台風被害により、現在は三浦市三崎に移転し、「みやがわエンゼルパーラー」としてリニューアルオープン）／写真提供：中村晃



戦前から立つ元旅館を再生「GOOD LIFE MAKER 8」

鹿児島県北西部に位置する人口約5万人の町に「GOOD LIFE MAKER 8」があります。出水駅前建つ元旅館を改装して、工務店のオフィス兼ショールーム兼チャレンジキッチンとして運用している空き家活用事例です。

駅前とはいえ、地域は車社会。かつて賑わっていた駅前は今では空き店舗だらけでした。そんな場所にある元旅館を借り上げた工務店は、増え続ける空き家に不安を抱き、リノベーションによる中古住宅活用の必要を感じていたといいます。そこで、古い建物を再生した事例のサンプルとして、この元旅館をリノベーション。自社のオフィス兼

ショールームとして活用することにしました。さらに、1階につくったキッチンで「曜日借り」できるチャレンジキッチン「8kitchen」として貸し出し、初期投資なしで気軽に出店できる仕組みと場を提供。地域で何か新しくお店を始めたいと思っている人たちのトランプを促し、お店にファンが付いたら駅前の空き店

舗を使って出店するというサイクルへつなげる試みを行っています。チャレンジキッチンは地域住民に好評で、空き店舗だらけで閑散としていた駅前が再び人々で賑わうようになりました。

*** **

今回、紹介した2つの事例はどちらも、一見集客が難しそうなロケーションにあります。しかし、「どんな場所として活用するか」というコンテンツの工夫で、空き家を使って地域を活性化できる可能性があることを教えてください。



戦前から建つ古い旅館を活用した事例「GOOD LIFE MAKER 8」（鹿児島県出水市）。工務店のオフィス兼ショールーム兼チャレンジキッチンとして運用中／写真提供：福岡敦巳

町では現在、あきやカンパニーが運営する空き家マッチングサイト「空き家ゲートウェイ」とコラボレーションした特設サイトを展開しています。全国に町の魅力を発信すると同時に、空き家情報を掲載し、移住や飲食店利用などを促進。空き家を地域資源として町の活性化につなげる取り組みを進めていきます。

「国見町×空き家ゲートウェイ」
特設サイト



「空き家ゲートウェイ」
運営：株式会社あきやカンパニー
YADOKARI 株式会社



空き家をお持ちの方は、ぜひ建設課管理係までご相談ください。

建設課管理係 ☎ 585-2972